

2019年 01月 05日

2019年 社長年頭所感

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

本日1月5日(土)9時より、伊藤ハム米久ホールディングス株式会社本社(東京都目黒区)にて行われました、当社代表取締役社長 宮下功による「2019年 年頭所感」の要約を下記の通りお知らせします。

記

昨年を振り返って

昨年を振り返ってみると、例年に比べ数多くの自然災害に見舞われた年であった。また、メーカーによる改ざん問題も前年に続いて多く報道された。このような問題が食品メーカー、とりわけコンシューマー商品で発生すると会社存亡の危機に直面するであろうことは想像に難くない。当社グループも法令や社内ルールの順守はもちろんのこと、万が一、問題が発生した場合には、速やかに上司に相談すること、また相談しやすい環境の整備など、引き続き徹底するようお願いしたい。

前例にとらわれることなく、レベルアップ

ホールディングス発足にあたり策定した、中期経営計画も折り返しを過ぎた。今年度は外部環境の悪化もあり、中計で示した3年目の経常利益目標260億円達成は、厳しい状況にある。しかしながら、個人がさらなる成長を実現し、グループとして業容・業績を拡大させることができれば、2020年度の経常利益300億円は、十分に達成可能であると考えている。そのためには、仕事をする際に前例にとらわれることなく、「失敗を恐れず、チャレンジングに仕事をする」「自ら考え、行動する」ことを、もう一段も二段もレベルアップしたい。

行動しないこと、チャレンジしないことが最大のリスク

ホールディングスが発足し、まもなく3年がたとうとしているが、新規のもしくは前提条件を変えることについては、まだ改善の余地があるように感じる。やり方や仕事の仕組みを変えたりすることで、業務量を削減し、生産性を改善することは、大きな効果をもたらすが、失敗したときのリスクを恐れ、抜本的な業務改革が進まないことがある。行動をためらう理由は、新しいことにチャレンジすることが面倒くさい気持ちや、失敗したときのリスクではないかと思う。しかし、行動しないこと、チャレンジしないことが最大のリスクであるとの危機感を全員で共有したい。

本年のスローガン

たとえ失敗してもチャレンジした人を評価する、チャレンジしないことが責められる、より活気のある組織風土にしたいと考える。以上より、本年のグループとしてのスローガンを

「自ら考え、行動する」～失敗を恐れず、チャレンジングに仕事をする～ とする。

以上

本リリースに関するお問い合わせ先

伊藤ハム米久ホールディングス株式会社

総務部広報室 木村、眞島

Tel: 03-5723-6889 Fax: 03-5723-2112